


Ver 1.3

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく 温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書

プロジェクト名	福岡県:株式会社ジャパンカーゴ廃食油由来バイオディーゼル燃料活用プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	株式会社 ジャパンカーゴ



提出日 2012 年 1 月 25 日

受理日 2012 年 4 月 2 日

最終版提出日 2012 年 4 月 2 日

A : 参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	株式会社ジャパンカーゴ(カブシキカイシャ ジャパンカーゴ)		
住所	埼玉県東松山市御茶山町 13-12		
代表者氏名	吉田 弘志	担当者氏名	吉野 鉄也
担当者所属	予算管理室	担当者役職	予算管理担当リーダー
担当者 E-mail	t-yoshino@skylark.co.jp	担当者電話番号	0493-24-6001
プロジェクトでの役割	プロジェクト統括		
プロジェクト外事業者(排出削減実施事業者) ※2			
事業者名(フリガナ)	株式会社ジャパンカーゴ(カブシキカイシャ ジャパンカーゴ)		
住所	埼玉県東松山市御茶山町 13-12		
代表者氏名	吉田 弘志	担当者氏名	吉野 鉄也
担当者所属	予算管理室	担当者役職	予算管理担当リーダー
担当者 E-mail	t-yoshino@skylark.co.jp	担当者 E-mail	0493-24-6001
プロジェクトでの役割	バイオディーゼルの利用(プロジェクト代表事業者と同じ)(資料 1)		
プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	株式会社フチガミ(カブシキカイシャ フチガミ)		
住所	福岡県久留米市津福本町 2300-10		
代表者氏名	渕上 健敏	担当者氏名	檜橋 保
担当者所属	管理課	担当者役職	課長
担当者 E-mail	narahashi@fuchigami.co.jp	担当者 E-mail	0942-38-5283
プロジェクトでの役割	廃食油の回収、バイオディーゼルの製造(資料 1)		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	株式会社ジャパンカーゴ(カブシキカイシャ ジャパンカーゴ)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			
ダブルカウントの防止の措置※7			
ダブルカウントの防止措置を講ずる事業者等	【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】 事業者名: 株式会社ジャパンカーゴ _____ (添付資料 1)		

<p>ダブルカウントの防 止措置内容</p>	<p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の類似制度(電力における RPS 法を含む)に申請しています</p> <p style="padding-left: 40px;">類似制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="padding-left: 40px;">理由: _____</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p><input type="checkbox"/> 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p>
----------------------------	--

	<p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ ホームページ URL: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 出版物（環境報告書/定期刊行物）</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）については除きます。</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画（区域施策）の策定義務対象者（都道府県）である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。 制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量（環境価値を他者に譲渡していないもの）は除きます。</p>
--	---

- ※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。プロジェクト代表事業者以外の主なプロジェクト事業者・プロジェクト参加者についてもパンフレット等を添付すること。
- ※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減活動を実施する者を指す。プロジェクト代表事業者と同一の場合は、その旨を記載すること。
- ※3:プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。
 - ・ 温室効果ガス排出削減活動の実施に際して設備導入等のアドバイスを行う ESCO 事業者等
- ※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。
- ※5:オフセット・クレジット(J-VÉR)取得予定者は、プロジェクト代表事業者、プロジェクト事業者、プロジェクト参加者のうちのいずれかであること。
- ※6:オフセット・クレジット(J-VÉR)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。
- ※7:オフセット・クレジット(J-VÉR)の発行がなされる場合、ダブルカウントを避けるための所要の措置をとる義務が生じる。詳細は、オフセット・クレジット(J-VÉR)制度利用約款、並びに実施規則 1.4 クレジットの二重使用(ダブルカウント)を参照すること。

B : プロジェクト活動の概要①																									
B.1 プロジェクト活動	項目																								
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>【目的】 株式会社ジャパンカーゴ(以下、当社という)は全国 9 拠点(仙台、群馬、千葉、埼玉、東京、神奈川、岐阜、兵庫、福岡)にて食品運送業を営んでいる。現在、運搬に使用する当社車輛の燃料は軽油を使用している。このうち福岡県の食品運送について、温室効果ガス排出量の削減を目的にバイオディーゼル燃料の活用を行う。</p> <p>【内容】 本プロジェクトの参加者である株式会社フチガミにて製造した廃食用油を原料とするバイオディーゼル燃料(B100)を購入し、福岡県での食品運送に使用する車輛の燃料として利用する。</p>																								
	<p>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</p> <p>プロジェクト実施以前は、当社の福岡県の運搬車輛は全て軽油を使用していた。</p>																								
	<p>B.1.3 排出削減・吸収の達成手段</p> <p>従来は軽油を使用していた当社の福岡県の運搬車輛に対してバイオディーゼル燃料(B100)を使用する。</p>																								
B.2 採用技術	<p>プロジェクトで使用する設備・機器等 (プロジェクトで使用する機器名称、機器メーカー名、型番、機器容量、法定耐用年数、導入年月、用途等について記載すること。(モニタリングに用いた機器は、最新のものに限らず全て記載すること))</p> <p>① BDF 使用車両 (資料 2)</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>日野</td> <td>2008 年 4 月～</td> <td>13 台</td> </tr> <tr> <td>いすゞ</td> <td>2008 年 10 月～</td> <td>2 台</td> </tr> <tr> <td>三菱</td> <td>2008 年 10 月～</td> <td>1 台</td> </tr> </table> <p>② BDF 製造設備 (資料 5)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BDF製造施設</td> <td>日本廃棄物管理センター株式会社</td> <td>7 年</td> <td>2008 年 4 月</td> <td>アルカリ触媒新ドライ方式 能力 600KL/年</td> </tr> <tr> <td>BDF 供給施設</td> <td>昭和機器工業株式会社</td> <td>7 年</td> <td>2008 年 4 月</td> <td>2 台</td> </tr> </tbody> </table>	日野	2008 年 4 月～	13 台	いすゞ	2008 年 10 月～	2 台	三菱	2008 年 10 月～	1 台	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	BDF製造施設	日本廃棄物管理センター株式会社	7 年	2008 年 4 月	アルカリ触媒新ドライ方式 能力 600KL/年	BDF 供給施設	昭和機器工業株式会社	7 年	2008 年 4 月	2 台
日野	2008 年 4 月～	13 台																							
いすゞ	2008 年 10 月～	2 台																							
三菱	2008 年 10 月～	1 台																							
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考																					
BDF製造施設	日本廃棄物管理センター株式会社	7 年	2008 年 4 月	アルカリ触媒新ドライ方式 能力 600KL/年																					
BDF 供給施設	昭和機器工業株式会社	7 年	2008 年 4 月	2 台																					
B.3 プロジェクト実施場所	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">実施事業所名</td> <td>株式会社ジャパンカーゴ 北九州営業所</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 福岡県北九州市若松区安瀬 64-171</td> </tr> <tr> <td>燃料供給会社名</td> <td>株式会社 フチガミ</td> </tr> </table>	実施事業所名	株式会社ジャパンカーゴ 北九州営業所	住所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 福岡県北九州市若松区安瀬 64-171	燃料供給会社名	株式会社 フチガミ																		
実施事業所名	株式会社ジャパンカーゴ 北九州営業所																								
住所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 福岡県北九州市若松区安瀬 64-171																								
燃料供給会社名	株式会社 フチガミ																								

	住所	福岡県久留米市津福本 2300-10
	概要	<p>(プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、別紙「プロジェクト申請方法について」に記載する資料を適宜添付する。)</p>

B : プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間 ※1		2008 年 4 月 16 日 ~ 2013 年 3 月 31 日 (5 年 0 ヶ月)					
B.5 クレジット期間 ※2		2008 年 4 月 16 日 ~ 2013 年 3 月 31 日					
B.6 想定排出削減量 ※3	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	239	324	<u>300</u>	341	341	<u>1,545</u>
B.7 モニタリング報告の頻度							
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / <u>受給しない</u>					
	補助事業名称/補助元						
	補助金額 (申請額含む)	円					
	補助金の使途						
	補助対象年月日	年 月 日 ~ 年 月 日					
	補助金を受給していることを証明する書類	(証拠書類の名称を記入し、別紙「プロジェクト申請方法について」の添付資料一覧に補助金交付通知書等を加えた上で、証拠書類を添付する。)					
備考	<p>プロジェクトの排出削減量やプロジェクトの実施に影響を与える現在もしくは将来的なリスク要因を特定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃食用油原料の安定した確保 ② BDF (B100) 車両と安全性の確保 <p>各リスク要因に対する影響の軽減措置を記述する (リスクの例については、「記入要領」を必ず参照のこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃食用油供給元はグループ企業が運営するレストラン事業の 6%程度の店舗からであり、必要に応じて供給量を増やすことでリスク軽減措置とする。 ② 新長期排ガス規制以降の車両では、フチガミ社で開発した装置を用いる事で新型車両でも問題なく稼働できる。車両の安全性では BDF 様式の日常点検 (B100 車両影響チェックシート運用) を行い、法定点検を漏れなく遅滞無く行うことでリスク軽減措置とする。 						

※1: 2008 年 4 月 1 日以前に開始されたプロジェクトについて申請する場合には、本制度によるクレジット収益が無ければプロジェクトの継続が困難であることを、別添資料で説明すること。

※2: クレジット期間は、2008 年 4 月 1 日~2013 年 3 月 31 日の間で設定すること。

※3: 想定排出削減量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。なお、想定削減・吸収量は合計値において小数点以下を切り捨てすること。

C:適用方法論		
C.1 適用方法論	方法論番号	No. <u>SS-E004</u> ver. <u>6.1</u>
	方法論名称	廃食用油由来のバイオディーゼル燃料の車輛等における利用
C.2 方法論の 適格性基準と の整合性	条 件	説 明 ※1
	C.2.1 条件1	使用するバイオディーゼル燃料の原料である廃食用油は、レストラン等の商業施設で使用された植物性の廃食用油であり、プロジェクトがない場合にはエネルギー利用はされていない。 (添付資料2、資料6)
	C.2.2 条件2	使用するバイオディーゼル燃料の精製方式は、メタノールを用いたエステル交換方式(乾式)である。 (資料5)
	C.2.3 条件3	バイオディーゼル燃料の使用により代替される車両等の燃料は、化石燃料である。 (資料4)
	C.2.4 条件4	プロジェクト内で使用されるバイオディーゼル燃料は、全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会モニタリング規格を満たしている。 (資料7)
	C.2.5 条件5	バイオディーゼル燃料を使用する車両は、全てバイオディーゼル100%使用であり、また、個別に特定されている。また、バイオディーゼルを使用するにあたり自己の責任において適切な車輛管理を行っている。 (資料2、資料3)

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	(オフセット・クレジット(J-VÉR)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>該当する</th> <th>準拠の説明</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。 * モニタリングガイドライン(削減プロジェクト用)に記載されていない算定方法、モニタリング方法等の提案を行う場合は、当該欄に提案内容を理由とともに明記すること。 【提案方法】 【理由】</p>	該当する	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/>	全く準拠しない		<input type="checkbox"/>	一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/>
該当する	準拠の説明	説明										
<input type="checkbox"/>	全く準拠しない											
<input type="checkbox"/>	一部準拠しない											
<input checked="" type="checkbox"/>	全て準拠する											
C.4 ベースラインシナリオ(BLS)	C.4.1 BLSの特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明) 食品を運搬する車輜には軽油が使用されていた (ベースラインシナリオを特定する際に信頼度及び入手可能性が低いデータを使用した場合、特定したベースラインシナリオが適切であることの根拠を以下に説明すること) 該当無し										
	C.4.2 BLSに関連した温室効果ガス排出源の特定	(リーケージ(プロジェクトの実施により生じるプロジェクトバウンダリー外での温室効果ガス排出量の増加)が想定される場合には以下に説明し、モニタリングプランにおいて定量化すること) 該当無し										
C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(削減量の定量化において不確かなデータを使用している場合には、削減量の過大評価がないことを以下に説明すること) 該当無し										
C.6 備考		(プロジェクトとベースラインシナリオにおける製品又はサービス活動の種類と水準に著しい差異がある場合には以下に説明すること) 該当無し (ベースラインの設定に関連する事情の変更等により、将来、プロジェクトを中止しなければならない状況が想定される場合にはその旨以下に説明すること)										

	<p>該当無し</p> <p>(プロジェクト排出量がベースライン排出量より増加するリスクがある場合にはその旨以下に説明すること)</p> <p>該当無し</p>
--	--

※1: 方法論の条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記する。また、投資回収年数等について記載しきれない場合には、別添資料で説明してもよい。

D:その他				
D.1 関連する許認可及び関連法令等	<p>(想定される関連法令等については、別紙「オフセット・クレジット(J-VER)制度における手続きについて」の方法論ごとの記載を参照のこと)</p> <p>なお、ここに記載した法令等は、あくまでも想定される主な法令であり、他にも関連する法令等の有無について確認すること。*届け出等が必要な場合は、届け出済みか、予定かを明記のうえ、予定の場合はいつごろ提出予定かも明示すること。</p>			
	1	大気汚染防止法	<input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> 該当する □具体的に*:
	2	水質汚濁防止法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	3	騒音規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	4	振動規制法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	5	景観法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	7	環境影響評価法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	8	建築基準法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 具体的に*:
	9	消防法	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 具体的に*: BDFを一定量以上貯蔵し、 または取り扱う場合には 消防法に基づく許可が必要
	10	道路運送車両法	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車検査証への廃食用油燃料使用の記載が必要
(資料 1P、資料 4)				

<p>D.2 環境影響評価 及び環境測定</p>	<p>(法令等によって実施が求められていない場合は省略可) 該当しない</p>
<p>D.3 住民説明会の 実施状況</p>	<p>(法令等によって実施が求められていない場合は省略可) 該当しない</p>